

市民グループとのタウンミーティング 議事概要

日 時	令和7年12月11日（木）午後14時00分～午後15時00分
グループ名	交野市内音楽団体
参加人数	8人

テーマ「市内公共施設での活動(内容・場所)について」

主 旨(市民グループ)

- 市内の音楽団体は、主に「青年の家」「星の里いわふね」「ゆうゆうセンター」を拠点として活動しているが、各施設の老朽化や構造的な課題により、十分な活動環境の確保が難しい状況である。
- 青年の家にエレベーターが設置されたことは、利用者から多くの感謝の声が寄せられている。市職員による丁寧な対応や、利用者に寄り添った支援に対して深く感謝している。
- 青年の家3階は利用団体が多く、予約が取りづらい状況である。隣室で行われるダンス等による振動や音漏れ、壁が薄いことによる音の混在など、音楽練習に適さない面が多い。また、団体の高齢化に伴い、バリアフリーへの対応の必要性も高まっている。
- 青年の家3階は、音楽団体が利用可能な唯一の貸室であることから、音楽団体および文化団体の専用利用とすることができないか意見交換したい。
- 旧第一中学校跡地および旧みらい小学校跡地の活用について、文化ホール整備の可能性について、市の方針を確認したい。

市 長

- 青年の家については、エレベーター設置により利便性は向上したものの、3階の音楽室は稼働率が非常に高く、部屋数の不足や防音・防振面での課題があると認識している。来年1月に教育委員会が旧みらい小学校へ移転する予定であり、それに伴い青年の家の部屋再編を行う予定であるため、その中で検討していく。
- 星の里いわふねについては、駐車場の台数を大幅に増やす方針で検討を進めている。音響機器の更新は、来年度の実施を目指している。天井は特定天井に該当するため、令和9～10年度に耐震工事を実施する必要がある。また、天井工事に合わせて内壁や舞台床についても併せて整備を進めるか検討している段階である。工事期間中は利用制限が生じる見込みであり、代替施設については市が確保する予定である。移動式観客席については、段差改善による安全性向上や、反響板・壁面の音響性能改善について、専門家の意見を踏まえながら検討していく。照明はLED化が完了していないため、併せて整備を進めていく。

- 本庁舎の耐震化工事完了後は、別館において公共施設として利用可能な部屋が増える見込みであり、市民への貸出しが可能となるよう整理したい。空き部屋の具体的な活用は、利用者の意見を踏まえながら検討していく。
- 旧第一中学校跡地については、避難所として整備を進めており、防災公園の整備や道路拡幅など、市民が使いやすい空間とする予定である。
- 旧みらい小学校は住居専用地域に位置しているため、大規模ホール等の新築は難しい。本来であれば体育館の建て替えが望ましいが、新築すると通常利用ができなくなるという地域の用途上の制約がある。しかし、既存体育館の修繕・改修を行うことで、現状どおり利用を継続することは可能である。今後は大阪府とも協議し、財政状況を踏まえながら長期的な視点で判断していきたい。
- 旧みらい小学校校舎は、令和 8～10 年度に教育委員会の執務室として活用するが決定しているが、それ以降の活用は未定である。校舎北側を整備し、防災公園の整備と併せて、避難経路として道路拡幅を行う予定である。

意見

- 青年の家では音楽室の数が不足しており、練習場所の確保が困難である。また音楽団体として利用可能な 3 階では隣室からの音漏れやダンス練習による振動等により集中できないことから、防音・防振対策の実施を求めたい。
- 青年の家のエレベーター改修工事に伴い、代替施設として星の里いわふね 2 階を使用した際、ピアノを設置してもらった経緯がある。この経験を踏まえ、星の里いわふねの会議室にピアノを常設すれば、練習場所として継続的に活用できると考えている。
→[市長]星の里いわふねの会議室は利用率が高くないため、市としても良い提案だと考えている。指定管理者を通じて正式に連絡をいただければ、前向きに検討する。
- 星の里いわふねや青年の家が工事により長期間利用できなくなる場合、文化祭や合唱祭の開催に支障が出るため、早期に代替施設を提示してほしい。近隣自治体施設との連携も含めて検討をお願いしたい。また、星の里いわふね工事期間中の代替施設として、みらい学園の体育館を利用できないか。
→[市長]みらい学園の体育館は、中学生の利用頻度が高いため、代替施設として利用することは難しい。来年度にすべての小学校体育館にエアコンが設置されるので、他の小学校も代替施設として利用可能であると考えている。
- グリーンビレッジの今後について確認したい。
→[市長]現在は中国資本の方が所有している。市としては購入を検討したい考えはあるが、現状の施

設価値を考慮すると、費用面から購入は難しい。

- ゆうゆうセンター4階の交流ホールは、天井が低く、舞台と音響卓が連動していない構造上の問題があり、演奏会や発表会の実施に適した環境ではない。市の担当者に音響設備や照明設備の知識や専門性が不足している。

→[市長]ゆうゆうセンターは福祉集会所として整備された経緯があり、音楽用途として整備されていない。舞台照明のLED化や音響設備の改善については段階的に進めていくが、根本的な改修には制約がある。

- 星の里いわふねは築50年が経過しており、反響板、壁面、観客席、音響設備などの老朽化が顕著である。観客席の段差が大きく、高齢者がつまづく危険性があるほか、エアコン利用料が高額で、活動継続の負担となっている。

→[市長]星の里いわふねのエアコン料金が高額である点については、電気式空調の契約電力が高いという構造的な理由がある。次期指定時に料金体系の見直しについて検討する。また、星の里いわふね以外の施設については、来年度に指定管理者の選定を行う際に併せて見直しの検討を図る